夢とぬくもりある生涯学習のまち いいやま
生涯学習情報

教育委員会からお礼の感謝状を贈呈

正受庵担雪会から正受庵の冊子を寄贈いただきました

正受老人（道鏡恵端禅師）とその徳を慕い、ボランティアで正受庵の護持などに取り組んでいる「正受庵 担雪会」（足立福二会長19人）から昨年、正受庵本堂大改修工事完成、会創立30周年を記念して刊行した冊子「長野県史跡 正受庵」700冊を教育委員会に寄贈していただきました。

特に次代を担う子どもたちに正受老人の教え、正受庵を知ってほしいとの願いから、小中学生と先生のふるさと教育の副読本として活用させていただいています。

そのお礼として3月26日に教育長室で足立会長、滝澤秀司副会長、土屋稔教育長から足立会長に感謝状が手渡されました。

3月26日　春の雪が降る正受庵の様子

足立会長　　滝澤副会長

（左）鐘　楼　（右）茶　室

参道「白隠蹴落し坂」

第5回城東区吹奏楽フェスティバル参加

3月29日にスポーツ交流スキー姉妹都市である大阪市城東区で、「第5回城東区吹奏楽フェスティバル」が文化の交流を深める目的で開催されました。地元の中学校の吹奏楽部が中心に参加したこのフェスティバルに、飯山市より「みゆき野吹奏楽団」「飯山北高等学校吹奏楽部」の皆さんが参加。前日の夕方には城東区の高原区長をはじめ各団体の皆さんにより心温まる交流会が開催され、また会場入口では飯山市農林課職員による飯山の農産物の販売があり、大盛況のうちに完売となりました。

みゆき野吹奏楽団と北高生の混成演奏の様子（この下の1枚のみ北高生と地元中学生の混成）

生涯学習のマスコット
“マナビィ”

教育委員会事務局
スポーツ生涯学習課
電話 62-3111
内線 351

09.04
No.60

日赤病院・道の駅 花の駅 千曲川 の ギャラリー作品展示のお知らせ

飯山日赤病院・道の駅花の駅 千曲川のギャラリーにおいて、木島平村芸術文化協会、栄村芸術文化協会、野沢温泉村の皆さん、飯山市芸術文化協会の作品を、飯山日赤病院では1月～3月・4月～6月・7月～9月・10月～12月の年4回展示替えを、道の駅 花の駅 千曲川では1ヶ月ごとに展示替えを行い、作品を鑑賞していただいています。

今後の展示団体については左記のとおりです、お立ち寄りの機会がありましたらぜひご覧ください。

●飯山日赤病院展示
4月～6月　木島平村芸術文化協会
　　野沢温泉村の皆さん
　　飯山水墨画協会
7月～9月　サロン・ド・ライチ
　　手芸サロン　飯山日本画協会　栄村芸術文化協会
10月～12月　飯山市書道協会
　　ちぎり絵グループ
　　千曲みずる会
　　パッチワークみゆき野

●道の駅 花の駅 千曲川展示
4月　千曲みずる会
5月　水墨画
6月　パッチワークみゆき野
7月　ちぎり絵
8月　日本画
9月　書道
10月　サロン・ド・ライチ
11月　水墨画
12月　千曲みずる会

飯山日赤病院での展示の様子（この下の1枚のみ「千曲川」での展示の様子）

歩くスキー&雪上ウォーク2009開催

4月5日　なべくら高原

このイベントは、スキーやスノーシューなどをはいて、早春のなべくら高原を散策し自然を満喫しようというもので、当日は天候に恵まれ暖かい日差しの中、多くの参加者が汗をかきながら残雪を楽しんでいました。

約130人の参加者のうち市外からの参加者は60人を超え、県外からも30人ほどの参加があり、毎年楽しみにして来られる方も多く、なべくら高原恒例のイベントとなっています。歩くスキーは約10kmの「ばりばりスキーコース」と約5kmの「のんびりスキーコース」、ほかにスノーシューやかんじきを使って歩く「ゆったりスノーシューコース」があり、参加者それぞれの体力に合わせてなべくら高原の自然を楽しんでいました。イベント終了後は「森の家」でお楽しみ抽選会があり、多くの参加者が交流を深めながら楽しいひと時をすごしました。